

# 概要

医療を担当する場としての医療施設には、病院・診療所・老人保健施設があるほか、広い意味で薬局・医療品販売業も含まれます。

病院・診療所・老人保健施設については、その分布と整備の実態を明らかにするために、「医療施設調査」や「社会福祉施設等調査」「介護サービス施設・事業所調査」等が実施されています。

また、病院・老人保健施設における患者・入所者・通所者等の利用状況については、病院や老人保健施設の管理者から「報告」が提出されています。

病院・診療所の施設数及び病床数の年次推移は、表1のとおりです。

## 1 病院

(1) 平成15年10月1日現在の病院数は153施設で、前年と比べて3施設減少しています(休止、休診中の施設を除く)。人口10万対病院数は10.3(全国7.1)で、全国平均を上回っています。

なお、市部・郡部別にみると、市部11.5、郡部7.1となっています。

また、開設者別では、医療法人98施設(構成比64.0%)、個人6施設(同3.9%)、公的医療機関23施設(同15.0%)、公益法人14施設(同9.2%)、国5施設(同3.3%)等となっています。

(2) 平成15年10月1日現在の病院の病床数は23,549床で、前年に比べ191床減少しました。人口10万対病床数は1,587.9床(全国1,278.9床)です。

なお、病床を種類別にみると、一般病床12,531床(人口10万対845.0床)、精神病床5,106床(同344.3床)、結核病床262床(同17.7床)、感染病床26床(同1.8床)、療養病床5,624床(65歳以上人口10万対1,649.3床)となっています。

(3) 平成15年中の病院の利用状況をみると、在院患者延数は7,472,224人(前年7,518,365人)、平均在院日数は41.1日(同42.6日)、人口10万対1日平均外来患者数は1,691.5人(同1,755.4人)となっています。

また、病床利用率についてみると一般病床等が84.0%(前年83.8%)、精神病床が90.8%(同91.0%)、結核病床が22.7%(同27.2%)で、全体では86.9%(同86.8%)となっています。

## 2 一般診療所

- (1) 平成15年10月1日現在の一般診療所数は1,207施設で、前年と比べて6施設減少しています(休止、休診中の施設を除く)。人口10万対一般診療所数は81.4(全国75.3)で、全国平均を上回っています。
- (2) 平成15年10月1日現在の一般診療所の病床数は6,300床で、前年に比べ436床減少しました。人口10万対病床数は424.8床(全国147.2床)で、全国平均を大幅に上回っています。

## 3 歯科診療所

平成15年10月1日現在の歯科診療所数は674施設で、前年と比べて7施設増加しています。人口10万対歯科診療所数は45.4(全国51.6)で、全国平均を下回っています。

## 4 薬局・医薬品販売業

- (1) 平成15年度末現在の薬局数は528施設で、無薬局町村は20町村です。
- (2) 平成15年度末現在の医薬品販売業を業種別にみると、一般販売業192(卸売を含む)、薬種商販売業166、配置販売業124、特例販売業122となっています。

## 5 介護老人保健施設

平成15年10月1日現在の介護老人保健施設数は59施設で、前年と同数となっています。入所定員数は4,757人で、前年と比べて5人増加しています。

## 6 訪問看護ステーション

平成15年10月1日現在の訪問看護ステーション数は86施設で、前年と比べて1施設増加しました。